

令和6年度 石川県教育工学研究会 総会

日時 5月25日(土) 場所 金沢星稜大学 A棟大会議室

議案

1. 令和5年度事業報告および収支決算
2. 令和6年度役員推薦について
3. 令和6年度事業計画(案) および収支予算(案)

事務局より

1. 令和5年度事業報告および収支決算

(1) 令和5年度事業報告について 資料1 参照

①総会・学習会

今年度の総会・第1回学習会は5月27日(土)に金沢星稜大学にて開催しました。

第1回学習会

講演 「東欧、北欧の教育事情

ーハンガリー、スウェーデン、フィンランドを訪れて感じたことー

講師 清水 和久 先生(会長・金沢星稜大学教授)

第2回学習会

日時 10月15日(日) 10:00~11:30

場所 金沢市立森本小学校図書室

内容 ワークショップ 「iMovieを使った画像合成」

①3年図工科での授業実践紹介 授業者 森本小 羽場史江教諭

②iMovieを使っての画像合成体験

第3回学習会

日時 3月3日(日) 年次大会・北陸三県大会石川大会

内容 ワークショップ「最新機器の体験から教育への活かし方を考える」

VR ゴーグルとドローンプログラミングの体験を行いました。

②年次大会・研究会での発表等

・年次大会・北陸三県大会石川大会は3月3日(日) 13:00から金沢星稜大学で行いました。全部で22本、石川からは9本の発表がありました。

・「研究紀要」は印刷をせず、pdfデータでWEBからダウンロードするようにしました。

・第49回全日本教育工学研究協議会全国大会青森大会では大徳小の角納裕信先生が発表されました。

③共催関連

○金沢市小教研情報部会・石川県小中学校視聴覚教育研究協議会

「スクラッチでプログラミング「あったらいいなこんなもの」講習会」

講師：森本小 飯田淳一教諭

日時 8月9日(水) 9:30~12:00

場所 金沢市立伏見台小学校

内容 ①ゲームづくりで学ぶスクラッチ3.0のしくみ

②事例で学ぶシミュレーション教材

・算数科でのシミュレーション教材(正多角形をかく、他いろいろ)

・国語科での物語のアニメ作品作り

- ・音楽科での旋律づくり、鍵盤シミュレーション
- ③体験タイム
 - ・プログラミング体験
 - ・カメラと連携したプログラム体験
 - ・マイクロビットと接続したプログラム体験
- ④交流タイム
 - ・「あったらいいなこんなもの」を考えてみる

④会報第 104 号の発行

昨年度から年 1 回の発行としています。
大会に合わせ 3 月 3 日に発行しました。(100 部)

⑤研究グループ支援

研究活動の支援として、以下のグループに図書費として支援しました。

- ・スクラッチ研究グループ
- ・ipad 活用研究グループ
- ・生成 AI 研究グループ
- ・GoogleEducator 認定者育成グループ
- ・VR 研究グループ

(2) 収支決算について 資料 2 資料 3 参照

- ・資料 2・資料 3 は、県への報告として提出したものです。
- ・県からの補助金は 3 2 0 0 0 0 円と申請してありましたが、会報を年 1 回とし、研究紀要を pdf で発行したため、6 0 0 0 0 円分の減額申請をした結果、2 6 0 0 0 0 円の補助金となっています。
- ・会員数が減っているため、会費納入状況は芳しくありません。協賛金もほぼ見込めないため、厳しい状況が続きます。
- ・北國銀行の「北國ウェブ・アクセス」の設定をしました。WEB 上で銀行口座の管理ができるようにしました。(<https://www.hokkokubank.co.jp/customer/webaccess/>)

2. 役員の推薦について 資料 4 参照

(1) 令和 6 年度会長について

- ・金沢星稜大学の清水和久先生をお願いします。
- ※ 5 月総会にて選出…会則第 9 条 (1) による

(2) 令和 6 年度役員の推薦について

- ・お気づきの点をご指摘ください。
- ・細川都司恵先生を名誉会員に推薦します。
- ・副会長に小林祐紀先生(放送大学)を推薦します。
- ・理事に越坂米景先生(田上小) 中口健太郎先生(朝霧台小)を推薦します。
- ・石川県視聴覚教育研究協議会から北村弘樹先生(安原小)に副会長をお願いしました。
- ・理事および役員に委嘱状を発行し、それぞれの役割を意識してもらいます。

3. 令和 6 年度事業計画および収支予算について

(1) 令和 6 年度事業計画案について 資料 5 参照

①総会、理事会について

- ・令和 6 年度総会は 5 月 2 5 日(土)です。
- ・理事会は 3 月年次大会(3 月 2 日)の昼休憩中に短時間で行います。

②事務局の仕事内容について

- ・年間の行事を見通し、事務局各次長の仕事内容を見直しつつ共有するため役員名簿の記載は「事務局」とします。

③主な研究活動について

- ・入会者増を目指しながら会員の研修を深めます。
- ・グループ研究に力を入れ、会員の自発的な活動を支援していきます。
(グループ研究費の補助、アドバイザーの派遣、グループ同士の情報共有など)
以下のような研究グループが予定されています。()内はリーダー。
 - ・スクラッチプログラム活用グループ(森本小飯田)
 - ・i-pad活用グループ(森本小羽場)
 - ・生成AI活用研究グループ(未定)
 - ・VR活用研究グループ(小立野小櫻井)
 - ・GoogleEducator認定者育成グループ(田上小下倉)
 - ・ドローン活用研究グループ(未定)
 - ・Canva活用研究グループ(森本小飯田)

各グループのリーダーが中心となって、入会者を増やしたり、年に1回程度全体へ向けての学習会を企画したり、会報での活動報告をしたりする活動に取り組みます。

グループ活動の状況がわかるようにフェイスブックを活用して募集や告知、報告を行います。

④組織拡大・強化の取り組み、学会等について

- ・引き続き、石川県小中学校視聴覚教育研究協議会、企業との連携も視野に入れ、会員の拡大を図ります。
- ・イベント告知用メーリングリスト、およびフェイスブックを引き続き活用し、より一層の充実を図ります。
- ・ホームページを活用し情報を共有しながら、より透明性のある会の運営を図ります。
- ・事務局メーリングリストを活用して情報共有を図ります。
- ・第50回全日本教育工学研究協議会全国大会(東京大会)は10月25日(金)26日(土)の日程で開催されます。
- ・9月28日(土)にAI時代の教育学会の年次大会を共催で行います。場所は金沢星稜大学グローバルコモンズです。
- ・北陸三県教育工学研究大会は富山での開催です。2月中旬開催予定。

(2) 令和6年度予算について 資料6 資料7 参照

- ・会費は、年度の途中入会は無料、次の年度から4000円を納めてもらいます。
- ・とにもかくにも会員を増やさなければならない状況です。
- ・県への補助金の申請は20,000円減額して、300,000円とします。会報を103号から年1回にしたことと、研究紀要をpdfで発行していることにより、以前よりかなり経費が削減されています。その分図書費を増額して、研究助成費として配分しています。
- ・図書費は「グループ活動支援」として活動費を設定しています。
- ・全国大会で発表者へ30,000円×3人分用意しています。ぜひ発表を!
- ・会報の執筆者へ3,000円ずつの謝金を用意しています。

令和5年度 石川県教育工学研究会 事業報告

事業	期日	概要
1 総会 理事会	5月27日 令和6年 3月 4月	令和5年度総会 Zoomで開催 ・令和4年度事業報告・決算報告 ・令和5年度事業計画・予算案 令和5年度理事会（書面） ・令和5年度事業報告・決算報告 ・令和6年度事業計画・予算案 ・令和6年度役員案
2 研究事業	4月12日 5月28日 8月9日 10月15日 10月28日29日 11月16日 令和6年 3月5日	○事務局会 金沢星稜大学 ○第1回学習会 講演「東欧、北欧の教育事情 ―ハンガリー、スウェーデン、フィンランドを訪れて感じたこと―」 講師 清水和久（会長・金沢星稜大学教授） ○第2回学習会（金沢市小教研情報部会・石川県小中学校視聴覚教育研究協議会との共催） ワークショップ「スクラッチでプログラミング「あったらいいなこんなもの」」 講師：飯田淳一（森本小） ○第3回学習会 ワークショップ「iMovieを使った画像合成」 講師 羽場史江（森本小） ○第49回全日本教育工学研究協議会全国大会青森大会 1名発表 ○事務局会 ○令和5年度石川県教育工学研究大会 ○北陸三県教育工学研究大会 石川大会 ワークショップ「最新機器の体験から教育への活かし方を考える」
3 刊行事業	4月、6月、8月、 10月、12月、3月 3月 3月	○研究会ニュース 年間を通じ当会Webサイト http://i-kougaku.undo.jp/ にてニュースを掲載しています。 ○会報(104号、B5版、24頁、100部) ○第48号研究紀要(A4版pdf)

令和 5 年度 収支計算書

収入の部

科目	予算額	決算額
会員負担金	240,000	240,000
県補助金	260,000	260,000
賛助会費	35,000	0
雑入	0	3,000
合計	535,000	503,000

(1) 支出の部

科目	予算額	決算額	
補助対象経費	賃金	30,000	30,000
	謝金	100,000	90,000
	旅費	60,000	60,000
	消耗品費	4,500	6,857
	印刷費	100,000	83,419
	図書費	180,000	180,000
	通信運搬費	30,500	28,644
	借上料	15,000	9,350
	小計	520,000	488,270
補助対象外経費	15,000	14,730	
次年度繰越金	0	0	
計	535,000	503,000	

事業内容及び経費の配分（補助対象）

科 目		1 総会・ 理事会	2 研究事業	3 刊行事業
賃 金	30,000			会報作成 30,000
謝 金	90,000		講演会講師謝金 30,000 学習会講師謝金 30,000 会報執筆者謝金 30,000	
旅 費	60,000		全国大会 60,000	
消耗品費	6,857		事務消耗品 3,084	事務消耗品 3,773
印刷費	83,419			会報 80,300 研究紀要 3,119
図書費	180,000		研究奨励費（グループ） 160,000 全国大会発表奨励費 20,000	
通信運搬費	28,644		郵便葉書・切手 7,674 WEB維持費 6,000	会報・総会資料・理事会 資料郵送 14,970
借上料	9,350		3月大会会場費 9,350	
計	503,000	0	356,108	132,162

令和6年度 石川県教育工学研究会役員名簿

【会 長】 清水 和久（金沢星稷大）

【副会長】

加藤 隆弘（金沢大） 小林 祐紀（放送大学）
北村 弘樹（石川県小中学校視聴覚教育研究協議会会長・安原小）

【常任理事】

長田 博美（栗崎小） 平瀬 方識（羽松高） 正來 洋（河内小）
西野 聡子（金石町小）

【理 事】

布川かほる（中能登町教育事務所） 越坂 米景（田上小） 中口健太郎（朝霧台小）

【事務局長】 飯田 淳一（森本小） 〔補〕下倉 健（田上小）

【事務局】 荒木弥生子（米丸小） 福田 晃（金沢大附属コラボレーション推進室）
山口 眞希（放送大学大学院）

【研究委員】

武田 理恵（小坂小） 北濱 康裕（片山津中） 櫻井 元太（小立野小）
羽場 史江（森本小） 松本 聖菜（苗代小） 久米田年雄（菅原小）
岡本 光司（金大附属小） 竹田 円香（泉小） 竹村 宗矩（北陸学院小）
海道 朋美（関西大学）

【会 計】 飯田 淳一（森本小）

【会計監査】 林 道雄（金沢向陽高） 角納 裕信（石川県教育委員会）

【日本教育工学協会役員】（理事）清水 和久 （名誉理事）吉田 貞介 村井万寿夫

【名誉会員】

紙谷 威 山本 昌猷 清丸 亮一 谷内 敏夫 藤井 昭久 押野 市男
南 千之 内田 正明 三田村英明 西田 政人 宇都宮 博 菖蒲田英夫
畠 一馬 荒巻 雅博 細川都司恵

【顧 問】 吉田 貞介 村井万寿夫

【指導委員】

太田 雅夫 小笠原喜康 黒上 晴夫 黒田 卓 堀田 龍也 山西 潤一
吉崎 静夫 赤堀 侃司 鈴木 克明 清水 康敬 堀口 秀嗣 中川 一史
稲垣 忠 佐藤 幸江

令和6年度 石川県教育工学研究会 事業計画

事業	期 日	概 要
1 総会 理事会	5月25日(土) 令和7年 3月2日(日)	令和6年度総会(於:金沢星稜大学) ・令和5年度事業報告・決算報告 ・令和6年度事業計画・予算案 令和6年度理事会(於:金沢星稜大学) ・令和6年度事業報告・決算中間報告 ・令和7年度事業計画・予算案 ・令和7年度役員案
2 研究事業	5月25日(土) 8月 月上旬 9月28日(土) 10月 中旬 10月25日(金) 26日(土) 12月 令和7年 2月 3月2日(日)	○第1回学習会 ワークショップ「Canva始めました」 ○年間を通してグループ研究活動 ○夏の研究会 ○AI時代の教育学会年次大会金沢大会 (AI時代の教育学会と共催 於金沢星稜大学) ○第2回学習会 ○第50回全日本教育工学研究協議会全国大会東京大会 ○冬の研究会 ○北陸三県教育工学研究大会富山大会 ○令和6年度石川県教育工学研究大会
3 刊行事業	4月、6月、8月、10月、12月、3月 7月、3月 3月	○研究会ニュース 年間を通じ当会Webサイト http://i-kougaku.undo.jp/ にて ニュースを掲載しています。 ○会報(105号、B5版、24頁、150部) ○第49号研究紀要(pdfにて配付)

令和6年度 石川県教育工学会予算

(1) 収 入

	金 額	摘 要
会 員 負 担 金	220,000円	会費@4,000×55人
県 補 助 金	300,000円	
賛 助 会 費	100,000円	
計	620,000円	

(2) 支 出

	補助対象経費	補助対象外経費	計
賃 金	20,000		20,000
謝 金	100,000		100,000
旅 費	160,000		160,000
消耗品費	5,000		5,000
印 刷 費	90,000		90,000
図 書 費	180,000		180,000
事務連絡費	0		0
役務費	35,000		35,000
借 上 料	10,000		10,000
組織加盟金		10,000	10,000
諸 会 合 費		10,000	10,000
計	(b) 600,000円	(c) 20,000円	(b)+(c)=(a) 620,000円

令和6年度 事業内容及び経費の配分（補助対象）

科目名		1 総会・理事会	2 研究事業	3 刊行事業
賃 金	20,000			20,000
謝 金	100,000	講演会講師謝金 20,000	学習会講師謝金 20,000×4人	
旅 費	160,000	講演会講師旅費 20,000	学習会講師旅費 20,000 全国大会発表者・理事派遣 30,000×4人 120,000	
消耗品費	5,000		コピー代・資料代 2,000	事務用品 3,000
印刷費	90,000			会報 90,000
図書費	180,000		学習グループ研究奨励費 30,000×6グループ	
役務費	35,000		郵便葉書 14,000 WEB維持費 6,000	会報郵送 15,000
借上料	10,000		会場費 10,000	
計	600,000	40,000	432,000	128,000

石川県教育工学研究会会則

第1条 本会は、石川県教育工学研究会と称する。

第2条 本会の事務局は会長の所属する教育機関に置くものとする。

【目的】

第3条 本会は石川県の教育の振興をはかるために、新しい時代に即応した教育方法・技術の研究開発ならびに情報の交換を行うことを目的とする。

【事業】

第4条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 教育工学研究大会等の開催
- (2) 研究会・講習会・講演会等の開催
- (3) 教育メディアの開発・利用に関する研究
- (4) 教育システムに関する開発および研究
- (5) 授業改善に関する研究および教材開発
- (6) 教育工学に関する共同研究の助成
- (7) 国内並びに外国との教育工学に関する情報交換
- (8) 研究紀要・機関誌・図書等の発刊
- (9) その他、本会の目的達成に必要な事業

第5条 本会の目的および事業に賛同し、協力するものをもって会員とし、次のように区別する。

- (1) 一般会員
- (2) 名誉会員
- (3) 賛助会員
- (4) 学生会員

第6条 本会に顧問および指導委員をおくことができる。

【支部】

第7条 本会の事業を円滑にするため支部をおくことができる。

【役員】

第8条 本会に次の役員をおく。

- | | | | |
|-----------|-----|-----------|-----|
| (1) 会長 | 1名 | (7) 研究部長 | 1名 |
| (2) 副会長 | 若干名 | (8) 研究副部長 | 2名 |
| (3) 常任理事 | 若干名 | (9) 研究委員 | 若干名 |
| (4) 理事 | 若干名 | (10) 会計 | 2名 |
| (5) 事務局長 | 1名 | (11) 会計監査 | 2名 |
| (6) 事務局次長 | 3名 | | |

【役員を選出】

第9条 役員を選出は次のようにする。

- (1) 会長は総会において選出する。
- (2) 副会長・常任理事・理事・会計は、会長が委嘱する。
- (3) 事務局長および事務局次長、研究部長、研究副部長、研究委員、運営委員は、理事会において推薦し、会長が委嘱する。
- (4) 会計監査は、会長が委嘱する。

【役員の仕事】

第10条 役員の仕事は次のように定める。

- (1) 会長は本会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は会長を補佐する。

(3) 事務局長は本会の事務を統括する。

(4) 事務局次長は事務局長を補佐し、本会の運営に関する企画・立案にあたる。

(5) 常任理事・理事は、本会の運営についての重要事項を審議する。

(6) 研究部長・研究副部長・研究委員は、本会の事業を推進する。

(7) 会計は本会の会計の処理にあたる。

(8) 会計監査は本会の会計経理の監査にあたる。

【役員の仕事】

第11条 役員の仕事は1年とする。ただし再任をさまたげない。

【理事会】

第12条 理事会は必要に応じて会長が召集する。

【事務局】

第13条 事務局は、事務局長、事務局次長、研究部長、研究副部長、研究委員をもって構成し、必要に応じて事務局会をもつ。

【総会】

第14条 総会は年に1回開催し、会長がこれを召集し、次の事項を審議、承認する。

- (1) 会長の選出
- (2) 予算・決算に関する事項
- (3) 事業計画ならびに報告
- (4) 会則の改正
- (5) その他必要事項

【会計】

第15条 本会の会計は会費、賛助会費、補助金、寄付金その他をもってあてる。

【監査】

第16条 本会の会計経理は会計監査による監査を受けなければならない。

【会計年度】

第17条 本会の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

【名誉会員】

第18条 名誉会員は次のようにする。

- (1) 名誉会員は、本会の貢献者を理事会で推薦し総会で承認をとるものとする。
- (2) 名誉会員は終身制として理事会に進言できる。

【細則】

第19条 本会則の実施に必要な細則は理事会において定める。

【付則】

昭和45年6月21日会則施行

昭和56年5月24日改訂

昭和59年5月20日改訂

平成12年5月28日改訂

平成15年5月25日改訂

平成24年6月2日改訂

平成29年5月28日改訂

令和5年5月27日改訂